

# ゆきあかりの会 お知らせ No.18

2007年12月4日



♥ <<ゆきあかりの会>>にご参加くださった皆様へ ♥

急に寒くなってきましたね！

暖冬と言われていましたが、急に寒さが厳しくなりましたね。  
体調を崩されていらっしゃる方もおいでになるのではないのでしょうか？

特にこの12月の時期は、世の中が賑やかに、華やかな雰囲気包まれ、人々も何故だか幸せそうな顔つきで歩いている・・・、そんな思いにかられる毎日ですね。

クリスマスや年末年始にかけて、いつも以上に“家族団らの幸せ”が強調される時期です。

そのような中で暮らしていらっしゃる皆様の中には、普段以上に悲しみや寂しさを感じたり、羨ましさを通り越して、妬みや怒りを感じられる方もいらっしゃるでしょう。気持ちがとても落ち込んで、誰にも会いたくない、外へ出かけるのもつらいと感じていらっしゃる方もおいでになれるかもしれません。

大切な人を亡くされた方にとっては、このような思いや状態はとても自然なことです。愛する人を亡くされた方にとっては、とても正常なお気持ちですし、状態です。

ですからどうぞ、無理に抑え込んだり、我慢なさったりなさらないで、「今の私にはこういう状態が必要なんだ」と、ご自分の自然な思いを大切になさってくださいね。



★今年度の分かち合いの集いの日程です！！

☆第12回ゆきあかりの会

日時：2008年1月13日(日)13:00～16:00(受付12:45～)

☆第13回ゆきあかりの会

日時：2008年3月2日(日)13:00～16:00(受付12:45～)

会場：全日程とも、日本福祉大学名古屋キャンパス北館6階6A教室

\*会場の日本福祉大学名古屋キャンパスへは、どうかご連絡をなさらないでくださいようお願い申し上げます。連絡先：近藤浩子の携帯☎ 090-3909-4515

【ご参加のお申し込み方法】

- ① 参加のお申し込みは、それぞれの日程の2日前(金曜日)までに、事務局宛てにお申し込みください。
- ② 参加費はお一人1000円です。当日、会場の受付でお支払いください。

## ★ラジオ番組《百万粒の涙を流そう》、ただいま放送中！！

《ゆきあかりの会》企画・制作の「グリーンケアラジオ 百万粒の涙を流そう」が、名古屋シティエフエムラジオ局(通称; SHANANA! FM)から、毎週日曜日の夜 19時30分から45分まで放送中です。

**グリーンケアラジオ「百万粒の涙を流そう」12月分放送内容の予定**(内容は変更の可能性もあります)

放送回数	放送日	＜グリーンケア宅配便＞コーナー	＜グリーンシアター＞コーナー	＜遺族会のお知らせ＞コーナー
No.66	12月2日	「12月の時期に遺族が感じやすい気持ちについて①」	絵本「1000の風 1000のチェロ①」いせひでこ/作	—
No.67	9日	「12月の時期に遺族が感じやすい気持ちについて②」	絵本「1000の風 1000のチェロ②」いせひでこ/作	—
No.68	16日	未定	未定	入江杏さんの講演会「ミシュカの森へ～喪失が教えてくれたこと～」
No.69	23日	未定	未定	・ゆきあかりの会

## ★絵本作家、<sup>いりえあん</sup>入江杏さんの講演会及び新著ご出版のお知らせ

絵本『ずっと つながっているよーこぐまのミシュカのおはなしー』の作者である入江杏さんが、11月のゆきあかりの会の集いにご参加くださいました。

入江杏さんは、2000年12月31日に東京都世田谷区で起きた、一家4人が惨殺された事件の被害者である奥様のお姉さまにあたる方で、絵本作家でもいらっしゃいます。

入江さんは12月23日(日)に、東京の会場でグリーンケアに関する講演会を行いますので、ご案内致します。

また、新著『この悲しみの意味を知ることができるなら - 世田谷事件・喪失と再生の物語 - 』が、12月5日に春秋社から発売される予定です。

入江さんは、「絵本創作から1年、ずっとつながっている思いをこめて、死の物語と生の物語を書きました。主眼は新たに見えてきた生の物語です。」と語っています。

入江さんの新著のあとがきから、ごくごく一部を抜粋致します。

「この本を書き終えたいま、涙より微笑みを選ぼうという気持ちが一層強くなりました。でも、私のこの思いは、いまだ行きつ戻りつしています。……と同時に与えられたこの悲しみの意味をずっとずっと問い続けるつもりです。この悲しみの意味を問い続けることは、生きる意味を問うことになるからです。」



### 『ミシュカの森へ～喪失が教えてくれたこと～』

1. 日時 2007年12月23日(日・天皇誕生日) 14時～15時30分(予定)
2. 会場 早稲田大学 井深記念ホール
3. 費用 1,000円
4. 主催 入江杏&ミシュカの森 準備委員会
5. お問い合わせ先 beg\_minato@yahoo.co.jp みなと様宛て

## ★第5回「生きがい探索講座(通称:やってみよう会)」のご案内です!

第5回目は、2月の「第1回やってみよう会」で大好評だった杉野さんに再登場を願い、皆様からのリクエストにお応えして、年賀状シーズンを直前に、「毛筆で年賀状を書こう!講座」を開催します。

### 第5回生きがい探索講座(通称;やってみよう会)

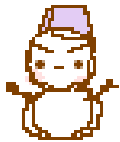
#### 「杉野了一先生の 年賀状を毛筆で書こう!! 講座」

1. 日時 平成19年12月8日(土)13:30開始~16:00終了(受付:13時15分~)
2. 会場 日本福祉大学名古屋キャンパス南館5階501教室  
(注意) ゆきあかりの会の集いをいつも行っている北館ではなくて、そのすぐ南隣の「南館」です。
3. 会費 お一人1000円(お茶菓子付き)
4. 持ってくるもの 筆(細書き用)(お持ちで無い場合は筆ペンでも可)のみ!  
(テキストと墨汁と書道用半紙等他の諸道具は、杉野先生がご用意して下さいます。)
5. お申込み 7日(金曜日)までに、事務局(あるいは近藤浩子)宛にお申し込みください。

\*今回の講師の杉野了一さんは、ゆきあかりの会の集いの参加者です。



## ★素敵な絵本のご紹介 No.15



### 『スノーマン』

レイモンド・ブリッグズ著



私が大好きな絵本です。とても有名な絵本ですから、ご存じの方もたくさんいらっしゃるかもしれませんね。

この絵本は、文字やセリフは一切なくて、パステルカラーの絵だけでストーリーが構成されています。

ある雪の朝、男の子は雪だるまを作ります。お母さんからマフラーと帽子を借り、みかんで鼻を作り・・・、「スノーマン」の完成です。

その夜、眠りについた男の子は・・・。

スノーマンとの夢のような一夜をファンタジックに描いた絵本で、優しい表情のスノーマンと男の子との楽しく、そして温かな交流の物語です。

そして、最後はちょっともの悲しくて・・・。

日常生活の中のつらさや様々なストレスで疲れた1日、優しさと温かさに溢れた絵本と共に時間を過ごしてみたいかがでしょうか?



《ゆきあかりの会》では、皆さんから、<お知らせ>に載せたいニュースや、亡くなった愛する人への思いを綴った作品等の投稿も随時募集しています。

この『お知らせ』の配布先は、ゆきあかりの会の集いにご参加くださったご遺族の皆さんです。

また、《ゆきあかりの会》のホームページでも掲載しています。



## ゆきあかりの会のホームページのアドレスが変更になりました

ゆきあかりの会のホームページのアドレスが、下記のように変更になりましたので、皆様にお知らせいたします。

変更後は、とても見やすく、読みやすい形になっています。また、とても可愛いBGMも流れています。

ぜひ一度ご覧になってみてくださいね！！

【変更前】 <http://yukiakarino.blog87.fc2.com>

【変更後】 <http://www.will.obi.ne.jp/yukiakari/>

いよいよ12月となり、2007年も残すところ1か月弱になりましたね。

皆さんにとって2007年はどのような1年間でしたでしょうか？

愛する人を亡くされて、一生忘れられない悲しみを体験した1年であった方もおいでになると思います。「ああ、今年の今頃はまだ・・・」と様々な思い出を思い起こして、胸をかきむりたくなるような苦しい思いの中で、毎日を生きていらっしゃる方もおいでになると思います。

また、ほんの少しだけ微笑むことができるようになった方もいらっしゃるでしょう。

悲しみや寂しさは絶対に消えないけれど、いつも心の中にあるけれど、でも、他のことも目に入るようになってこられた方もおいでになると思います。

私はこの1年の間に、昔からの古い友人二人、そして大学時代の恩師の死を体験しました。

大学時代の恩師の死を当時のクラスメート達に知らせる為に、連絡先が分かっている、あちこちに散らばっている同級生に電話をしたり、メールをしたりとあたふた状態・・・。

そしてその結果、卒業して以来、約30年ぶりに同級生の声を聴くことができたり、消息が分かったり・・・。

亡くなった恩師が、既に中高年となった教え子達に「懐かしいプレゼント」をしてくれたのかな・・・って、同級生達と泣き笑いしながら話し合いました。

亡くなった人は、遺された人に大きなプレゼントし続けてくれている・・・と、私はいつも感じています。

絵本作家の入江杏さんは、「**悲しみの意味を問い続けることは、生きる意味を問うこと**」と語っていらっしゃいます。

私もまさにずっとそうやって、15年前の“あの日”以来、生きてきたように思います。

そして、これからもずっと生きていくと思います。いつか、いつか・・・、再び出会える日まで。

「僕の死を無駄にしなかったね。僕の死の意味を問い続けて、よく頑張って生きたね」って言われたくて・・・。

大切な人を亡くした方の集い<ゆきあかりの会>代表 近藤浩子

### <ゆきあかりの会 事務局>

代表 近藤浩子(臨床心理士) TEL 090-3909-4515

FAX 020-4669-4206 e-mail [yukiakarinkai@yahoo.co.jp](mailto:yukiakarinkai@yahoo.co.jp)

\* <ゆきあかりの会>ホームページ <http://www.will.obi.ne.jp/>

[yukiakari/](http://www.will.obi.ne.jp/yukiakari/)

